

2023仙台市議選 立候補予定者 保育に関するアンケート

回答者名【 伊藤ゆうた 】 立候補予定選挙区【 青葉区 】

問1. 仙台市では、保育所の空き定員等を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業を行っていますが、どのように評価していますか。

子育て環境充実調査特別委員会等で同モデルについて先進的な取り組みとして提言を行ってきました。今後取り組みを進めていくべき事業として評価しています。

問2. 仙台市発達相談支援センター(アーチル)が、受付から相談対応まで最大4ヶ月かかることに対して、どのようにお考えですか。

当方にもアーチルの相談対応について多くの相談が寄せられており、非常に大きな課題として捉えています。大幅な相談体制の拡充等が必要と考えます。

問3. 厚生労働省は、インクルージョンを推進していく上では、児童発達支援と幼稚園・保育所等との併行通園を推奨していくことが重要としていますが、どのようにお考えですか。

インクルージョンを推進する中でこどもが併行通園する場合はこどもにとって総合的な支援となるよう取り組んでいくことが重要であると考えます。

問4. 仙台市には、障害のある子どもを保育園に預けたくても預けられず、就労を諦めている人が一定数おります。この現状についてどう思われますか。

ご指摘のような事案についてご相談も頂いています。対応可能な施設を増やしていくこと、学校現場や通学移動に関わる対応可能な医療従事者等を更に確保する等の取り組みを進めることが必要と考えます。保護者等が就労を諦めることがない仙台を目指していきます。

問5. 仙台市の医療的ケア児の保育所受入れ人数は100万人当たり4.6人で、政令指定都市20都市中17位です。この現状についてどう思われますか。

市長が言う「子育てするなら仙台」とはとても言えない状況です。保育現場におけるケア児に対応できる専門人材の配置や体制、環境整備が早急に必要であると考えます。

問6.その他、コメントあればお願いいたします。

立候補予定者にとっても意義のあるアンケートであり感謝致します。引き続き、市内の保育環境等の充実にご尽力いただければ幸いです。

子ども達のために、日本を変える

Florence